

令和2年度 文化人材バンク
学校出前講座
～ おかやま子どもみらい塾 ～
報 告 書

令和3年3月

岡山県・公益社団法人岡山県文化連盟



倉敷市立葦高小学校（箏曲・尺八）



赤磐市立吉井中学校（和太鼓）



高梁市立福地小学校（銭太鼓）



倉敷市立琴浦中学校（選択・鼓）



倉敷市立第五福田小学校（選択・茶道）



岡山市立幡多小学校（華道）



真庭市立北房小学校（狂言）



倉敷市立第五福田小学校（選択・水墨画）



岡山市立旭操小学校（陶芸）



玉野市立胸上小学（七宝）



総社市立常盤小学校（合唱）



津山市立東小学校（合唱）



倉敷市立琴浦中学校（選択・日本画）



赤磐市立磐梨小学校（作文）



岡山市立建部中学校（話し方）

「文化人材バンク学校出前講座～おかやま子どもみらい塾」事業は、子どもたちが文化に親しみ、文化への関心をもつきっかけづくりとするための事業です。岡山県からの委託を受けた公益社団法人岡山県文化連盟が企画運営を行い、学校出前講座を実施することで、文化活動の裾野拡大と将来の地域文化の担い手育成に努めています。

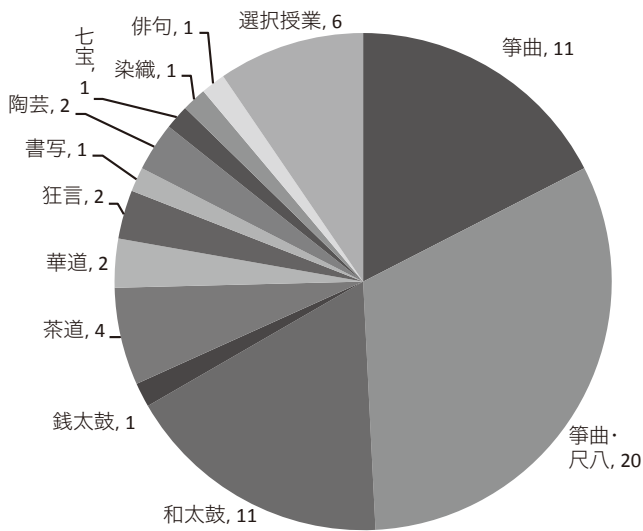
学校出前講座の伝統文化部門（箏曲、茶道、水墨画など）では、延べ13分野、延べ63校の利用が、一般芸術文化部門（合唱、合奏、対話型鑑賞法など）では、延べ8分野、延べ38校の利用がありました。

また、今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、学校からの申請取り下げや変更の申し出が多数あったほか、対策を講じながらの実施となりました。

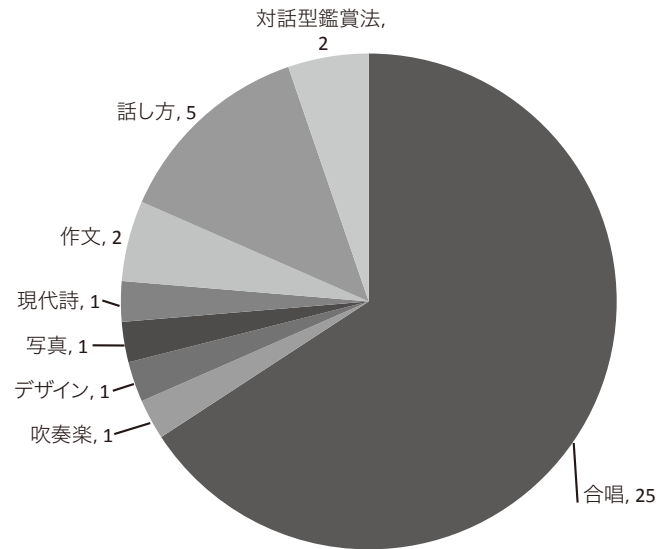
なお、事業実施にあたり、格別のご支援をいただきました公益財団法人福武教育文化振興財団様に深甚なる感謝の意を捧げます。

令和2年度学校出前講座利用状況

【伝統文化系 全63講座】

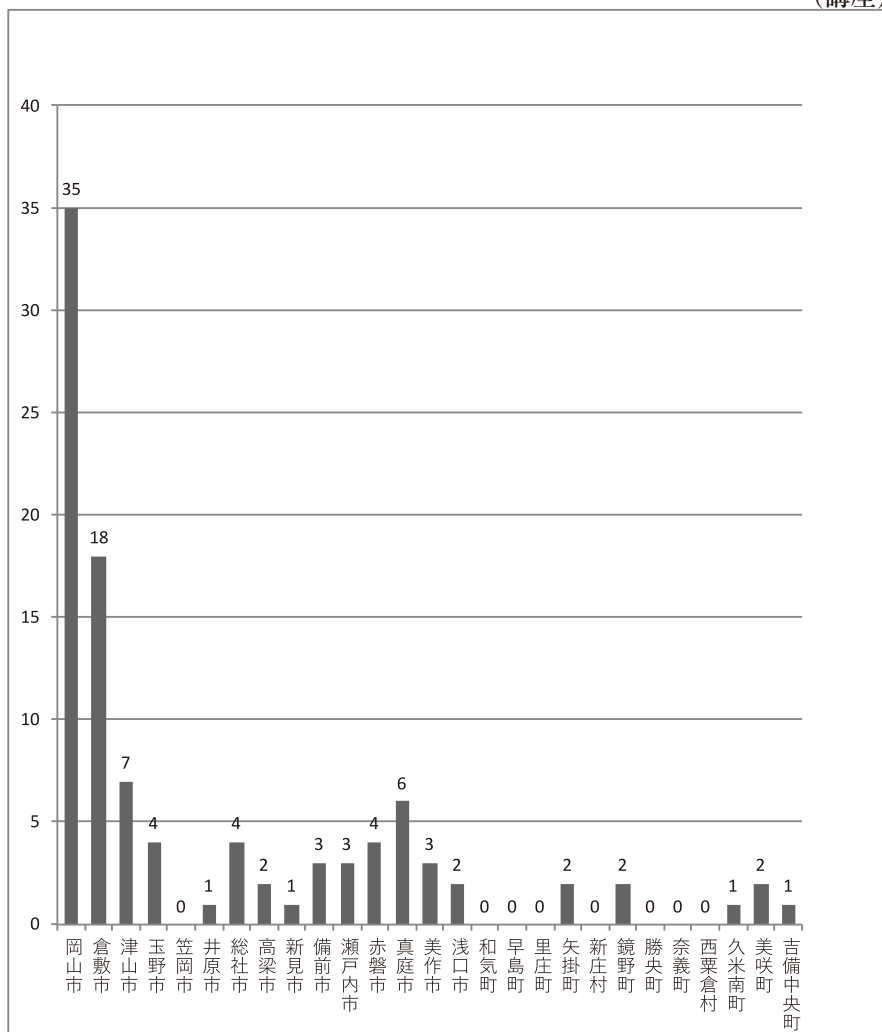


【一般文化芸術系 全38講座】



【市町村別講座数】

(講座)



■伝統文化部門■

【箏曲】

(行政順・日程順)

番号	学校名	講座詳細	
1	岡山市立 箕島小学校	目 標	箏を演奏したり、演奏を聞いたりすることで日本の伝統音楽に親しむ。
		講 師	荒川 智子
		対象者	6年生45名
		日 時	令和2年12月3日（木）13：30～15：05
		内 容	箏の演奏を鑑賞する。箏の演奏を体験する。
2	岡山市立 東疇小学校	目 標	日本の伝統音楽に触れ、体験することで、その良さを実感することができた。また伝統音楽だけでなく、日本の伝統文化を守り続けようという気持ちを持つ児童も多くいた。
		講 師	荒川 智子
		対象者	5年生64名
		日 時	令和3年1月21日（木）9：40～11：35
		内 容	・「森のくまさん」「アンダルシアの風」の生演奏を鑑賞 ・箏の体験「さくらさくら」
3	倉敷市立 第二福田小学校	目 標	箏の美しい音色を聞いたり、実際に演奏したりする活動を通して、豊かな情操を育むことができるようにするとともに、伝統的な和楽器に親しむことができるようにする。
		講 師	森 祥子
		対象者	4～6年生14名
		日 時	①令和2年6月17日（水）15：00～16：00 ②令和2年6月19日（金）15：15～16：15 ③令和2年7月3日（金）15：15～16：15 ④令和2年7月8日（水）15:00～16：00
		内 容	「たなばたさま」「きらきら星」の演奏 「紅蓮華」の合奏
4	倉敷市立 柏島小学校	成 果	昨年度に引き続き、指導を受ける児童も多く、曲のレパートリーが増えた。
		目 標	和楽器（箏）の音色に親しむ。
		講 師	仲達 泉
		対象者	4・5年生90名
		日 時	①令和2年9月28日（月）14：00～15：35 ②令和2年9月30日（水）13：30～15：05
5	倉敷市立 二万小学校	内 容	箏についての知識を学ぶ。箏の基本的な奏法を知る。「さくらさくら」の演奏を体験する。
		成 果	箏について、姿勢や奏法などの知識が深まった。「さくらさくら」を体験した児童が最後まで演奏することができた。
		目 標	本物の楽器に触れ、体験することで日本の伝統文化を味わう。演奏を目の前で聞くことで心豊かになる。
		講 師	渡谷 元子、湊 紀子
		対象者	4・5年生25名
6	瀬戸市立 牛窓北小学校	日 時	令和3年2月16日（火）10：40～12：15
		内 容	4年：5年生の教科書に出てくる「春の海」の演奏を聞く。「さくらさくら」の曲を実際に自分で演奏する。 5年：教科書に出てくる「春の海」の演奏を聞く。「さくらさくら」の曲を実際に演奏する。
		成 果	箏の音色の良さや美しさを感じることができた。また日本に古くから伝わる音楽に触れ、親しむことができた。
		目 標	箏の演奏を体験したり鑑賞したりすることを通して、日本の文化に興味を持ち、豊かな心情を育成することができる。
		講 師	安立 裕子
7	真庭市立 中和小学校	対象者	5年生11名、6年生6名
		日 時	令和2年11月2日（月）14：00～15：35
		内 容	①箏の楽器説明 ②演奏体験 ③演奏を鑑賞「さくら舞曲」「荒城の月抄」 ④感想発表
		成 果	全員の児童が箏に触れることは初めてだったが、分かりやすい説明で、ほとんどの児童が「さくらさくら」を多少演奏することができ、喜びを感じた。片付けも手伝わしてもらい、箏に興味を持った様子だった。
		目 標	5・6年の音楽の授業において、箏の演奏を聞いたり、演奏を体験したりする活動を通して、日本の伝統的な音楽に親しみをもたせるとともに、豊かな情操を養う。
7	真庭市立 中和小学校	講 師	洪谷 光子
		対象者	5・6年生9名
		日 時	①令和2年6月23日（火）9：45～11：35 ②令和2年7月2日（日）9：45～11：35
		内 容	講義 箏について（楽器の特徴や歴史）、箏曲「さくらさくら」について 実技 箏曲「さくらさくら」「海」の演奏、校内発表会
		成 果	日本の伝統的な楽器である箏の特徴や、歴史を理解するとともに、実際に箏曲を演奏することを通して、日本の伝統文化に親しみ、その良さを体感することができた。さらに、一人ひとりが「さくらさくら」「海」を演奏できるようになり、発表し合う活動を通して、達成感を味わわせることができた。"

番号	学校名	講座詳細	
8	真庭市立 米来小学校	目 標	総合的な学習の時間における伝統文化を体験する。
		講 師	渋谷 光子
		対象者	5・6年生8名
		日 時	①令和2年10月13日（火）14：00～15：30 ②令和2年10月20日（火）14：00～15：00 ③令和2年10月27日（火）14：00～15：00
		内 容 成 果	箏についての基礎的な知識や奏法などを学んだ。回を重ねるごとに少しずつレベルの高い楽譜をいただき、集中して練習できた。 3回の体験の中で、箏の音の美しさやすばらしさを感じただけでなく、伝統文化の良さやそれを受け継ぐことの大切さに気付くことができた。
9	真庭市立 落合小学校	目 標	日本の音楽の良さや日本楽器の美しさを味わいながら聞いたり、楽しんで演奏したりすることができるようにする。
		講 師	三上 之華
		対象者	3～5年生98名
		日 時	令和3年1月19日（火）10：45～15：30
		内 容 成 果	2人1組のペアになり、実際に箏で「さくらさくら」を演奏。箏の弾き方や楽譜の読み方についてご指導いただく。 実際に箏を弾く活動を通して、日本楽器の美しさを味わいながら音を聞いたり、楽しんで演奏したりすることができた。
10	真庭市立 勝山小学校	目 標	伝統文化に触れ、箏曲の良さを味わう。体験だけでなく、曲を仕上げることも目指していく。奏法を知り、和文化の良さを伝える。
		講 師	渋谷 光子
		対象者	6年生42名
		日 時	①令和2年12月3日（木）10：25～12：10 ②令和2年12月7日（月）10：25～12：10
		内 容 成 果	箏曲「さくらさくら」の模範演奏、箏についての説明、演奏法、縦譜、五線譜の見方の説明。実技指導（基本パート、アレンジパート）。座り方や礼の仕方など、作法や心構えの説明。 実際に箏に触れ、丁寧に指導していただいたので、限られた時間の中で、子どもたちは大変意欲的に取り組み上達した。奏法や作法などを知り、和文化の良さ、箏曲の良さを味わうことができた。
11	久米南町立 誕生寺小学校	目 標	日本の音楽の良さや楽器の響きの美しさを味わいながら聞いたり、楽器の音色を生かして演奏したりできるようにする。
		講 師	三上 之華
		対象者	4・5年生16名
		日 時	令和3年1月27日（水）10：40～12：15
		内 容 成 果	1.和楽器の話 2.わらべうたの演奏体験 普段触れることのない箏を実際に体験して、興味を持ったり、箏の楽しさを感じられたりした児童が多かった。また、音色を味わう児童も多く、和楽器への関心が高まったようだ。

【箏曲・尺八】

1	岡山市立 岡山後楽館中学校	目 標	日本の伝統音楽の良さを味わい楽しむ。楽器に触れ、音を出すことで和楽器を身近に感じる。
		講 師	[箏曲] 小山 東洋子 [尺八] 黒住 素山
		対象者	2年生78名
		日 時	令和2年11月17日（火）12：00～16：00
		内 容 成 果	・邦楽演奏（「春の海」「夕顔」「赤とんぼ」「もみじ） ・楽器説明 ・ワークショップ（箏曲「さくらさくら」の演奏体験） 生徒は邦楽に関心を持ち、授業に臨むことができた。また、箏に触れ、音を出すことの楽しさを体験できた。
2	岡山市立 平島小学校	目 標	日本の音楽・楽器を通して日本の文化に親しむ。
		講 師	[箏曲] 中川 博子 [尺八] 岩田 稲山
		対象者	4年生35名
		日 時	令和3年1月8日（金）10：50～12：20
		内 容 成 果	1.講師紹介 2.鑑賞「春の海」 3.楽器の説明、箏・尺八について 4.体験 5.閉会 生の演奏を実際に見ながら鑑賞させていただくことで、楽器の音色を体感することができた。音を出すことが難しい尺八の体験では、音を出すことのできるまでの大変さと、音を出すことができた時の喜びが感じられた。
3	岡山市立 鯉山小学校	目 標	音楽科の学習の一環として、箏曲や尺八の音色を聞いたり、実際に体験したりすることで、和楽器に親しみをもてるようにする。
		講 師	[箏曲] 安立 裕子 [尺八] 加東 吹山
		対象者	4年生29名、5年生30名
		日 時	令和3年1月14日（木）10：00～11：45
		内 容 成 果	「春の海」を鑑賞し、15分間箏を弾く体験をする。その後、15分間尺八の話聞く。30人を15人ずつに分けて、交代して行った。 初めて生の箏や尺八の演奏を聞いた児童が多く、とても興味を持っていた。実際に、箏を弾く体験もでき、和楽器に親しみをいただいていた。
4	岡山市立 甲浦小学校	目 標	箏と尺八の演奏を聞くことで、普段触れることのない日本の伝統文化に親しみをもてるようにしたい。また、実際に和楽器の演奏を体験することで、音の出し方を学んだり、演奏の楽しさを感じ取らせたい。
		講 師	[箏曲] 三上 澄之 [尺八] 藤原 匠山
		対象者	5年生36名、6年生43名
		日 時	令和3年1月18日（月）8：50～12：25
		内 容 成 果	①箏・尺八の演奏「春の海」 ②箏の紹介、「さくらさくら」の演奏体験 ③尺八の紹介・実演 演奏家として活動されている講師の先生方の演奏を聞き、和楽器の音色を楽しむことができた。和楽器の仕組みや演奏の仕方を直接教えていただいたことで、和楽器に対する理解を深め、和楽器に興味・関心を持つことができた。今回の体験をもとに、日本の音楽の良さを味わい、日本の様々な音楽への興味付けを図ることができた。

番号	学校名	講座詳細	
5	岡山市立 政田小学校	目 標	日常生活ではなかなか触れることができない箏・尺八に触れることで、箏・尺八の日本の楽曲に親しみ、演奏したり合奏したりすることの楽しさに気づき、今後の鑑賞体験に生かせるようにしたい。
		講 師	[箏曲] 山本 章敦 [尺八] 塩治 尺山
		対象者	5年生33名
		日 時	令和3年1月20日(水) 14:00～15:35
		内 容	箏・尺八を使った演奏「春の海」の鑑賞。箏・尺八の歴史や楽器についての講座。箏の演奏の仕方、実践「さくらさくら」。
成 果	CDではなく、本物の音を聞くことで伝統的な楽器のすばらしさを感じることができた。また、講座の中で箏や尺八についての学びがあったり、箏の方では実践もあり、音の響きの良さだけでなく演奏することの難しさを知ったりすることができた。		
6	岡山市立 操南小学校	目 標	5年生「日本の音楽に親しもう」の単元の中で、箏と尺八の体験学習を通して、日本の文化の良さに気づき、邦楽の学習を深める。
		講 師	[箏曲] 木村 倫子 [尺八] 松本 惇山
		対象者	5年生112名
		日 時	令和3年1月26日(火) 9:45～12:30
		内 容	1.講師の先生による生演奏を鑑賞…宮城道雄作曲「春の海」 2.3グループに分かれて、箏の説明、箏の実演、尺八の説明を聞いたり試したりする。
成 果	CDや映像で「春の海」を鑑賞した後に、このたびの体験学習を行った。実物を目にし、生演奏を耳にし、自ら楽器に触れることで、より邦楽への興味・関心が深まった。コロナウイルス感染症予防のために、本年度は尺八の体験ができなかったが、講師の先生の演奏や楽器の説明に興味深く聞くことができた。		
7	岡山市立 宇野小学校	目 標	箏や尺八の楽器の演奏を目の前で聞くことにより、音色や旋律の美しさを味わい、日本の音楽に親しむことができるようにする。
		講 師	[箏曲] 山本 章敦、狩野 章定 [尺八] 藤原 匠山、岩田 稲山
		対象者	5年生134名
		日 時	令和3年1月28日(木) 8:50～12:30
		内 容	・楽器の説明 ・箏の楽器体験 ・講師演奏の鑑賞 ・質問コーナー
成 果	・生の演奏を聞くことで、音色や響き、息遣いを感じることができた。 ・初めて箏に触れた児童がほとんどだったが、丁寧な指導のおかげで多くの児童が達成感や充実感を持つことができた。		
8	岡山市立 大野小学校	目 標	新学習指導要領にもなっており、教科書に日本の和楽器について詳しく知ったり演奏したりしてみようという内容が以前より大きく取り扱われている。学校には箏も尺八もないため、映像と鑑賞で進めてきた。今回の講座で生の演奏を聞き、楽器に触れ、日本の和楽器に対する愛情を深めたい。
		講 師	[箏曲] 安立 裕子 [尺八] 塩治 尺山
		対象者	4年生86名
		日 時	令和3年2月5日(金) 9:40～12:30
		内 容	・楽器説明 ・「春の海」演奏 ・楽器体験演奏 ・児童と講師の先生による「さくらさくら」の合奏
成 果	前もって箏の学習を重ねていたが、やはり生演奏は心にひびくことを感じていた。実物に触れて音を奏でてみると、知識で弾けると自信をもっていた児童たちも、箏の糸の固さや爪のかかり具合の難しさにとまどいながら必死で練習していた。演奏を目と耳と心で味わう講座であったので感謝している。		
9	倉敷市立 玉島小学校	目 標	和楽器に親しみ、我が国の音楽を大切に育てる。
		講 師	[箏曲] 三上 澄之 [尺八] 塩治 尺山
		対象者	4年生59名(5年生60名鑑賞のみ)
		日 時	令和2年9月23日(水) 8:45～12:30
		内 容	講師紹介、楽器紹介、生演奏「春の海」(4・5年生) 4年生は箏体験「さくらさくら」の練習、発表
成 果	箏曲「さくらさくら」を練習し、体験することで生の楽器の手触りや振動、絃の張り具合、音色などを体感している児童が多かった。生演奏や体験を通して和楽器や日本の音楽を好きになったり、良さに気付いたと感想をのべたりする児童が多数いた。		
10	倉敷市立 中島小学校	目 標	和楽器の演奏を聞いたり体験したりすることで、日本の音楽に親しむ。
		講 師	[箏曲] 渡谷 元子 [尺八] 佐藤 秩山
		対象者	5年生171名
		日 時	令和2年12月21日(月) 9:35～12:25、14:05～15:45
		内 容	・「春の海」の演奏を鑑賞 ・楽器、楽曲の解説 ・箏の体験
成 果	箏と尺八の生演奏に触れたり、実際に演奏してみたりすることで和楽器を身近に感じ、興味を深めることができた。		
11	倉敷市立 菅生小学校	目 標	和楽器の演奏を聞いたり体験したりすることで、日本の音楽に親しむ。
		講 師	[箏曲] 渡谷 元子 [尺八] 丸野 怜山
		対象者	6年生65名
		日 時	令和3年1月15日(金) 10:45～12:25
		内 容	・「春の海」の鑑賞 ・楽器、楽曲の解説 ・箏と尺八の体験 ・箏:「さくらさくら」の一部を弾く ・尺八:「鶴の巣籠」の鑑賞、塩ビ管での運指体験
成 果	間近で演奏を聞いたり、自分が体験することにより、日本の音楽に興味を持った児童が増えた。楽器の音が出る仕組みや演奏方法を知ることができた。		

番号	学校名	講座詳細	
12	倉敷市立 葦高小学校	目 標	日本の音楽を身近で聞いたり、楽器演奏を体験したりする中で、興味を持ったり、良さに気づいたりすることができるようにする。
		講 師	[箏曲] 森 祥子 [尺八] 大森 勢山
		対象者	4年生111名
		日 時	令和3年2月12日(金) 8:45～11:05
		内 容	箏・尺八・三味線の演奏を鑑賞。 箏・尺八の体験。
		成 果	日本の音楽を生演奏で聞く機会はあまりないので、音色のすばらしさ、迫力、演奏者の姿など感銘を受けたようである。また、知っている曲、分かりやすい説明、楽器体験をして日本の音楽に興味を持った児童が多く、また楽器の演奏を体験したいと思っている児童も多かった。
13	津山市立 向陽小学校	目 標	5年生の音楽で日本の音楽に親しもうという単元がある。教科書を見たりCDで聞いたりする学習だけでなく、本物を見て生演奏を聞き実際に体験することで理解を深めたい。
		講 師	[箏曲] 狩野 章定 [尺八] 加東 吹山
		対象者	5年生43名
		日 時	令和2年12月11日(金) 9:35～11:25
		内 容	「春の海」の鑑賞。箏:「さくらさくら」の指導と体験。尺八:尺八の種類と歴史の授業。
		成 果	本物を見て体験することで理解も深まり、今後の生活の中でも邦楽に関する興味・関心が高まったようである。
14	津山市立 高野小学校	目 標	日本の伝統的な音楽に実際に触れることで、伝統音楽への興味・関心を高める。
		講 師	[箏曲] 中川 博子 [尺八] 加東 吹山
		対象者	5年生58名
		日 時	令和3年1月22日(金) 9:30～11:30
		内 容	・講師演奏 ・箏の演奏体験 ・尺八についてのお話を聞く
		成 果	CDで聞いた曲を生演奏で聞くことができ、和楽器をより身近に感じる事ができた。箏の演奏体験に意欲的に取り組み、「さくらさくら」を先生と合奏することができ、児童は満足できていたようだ。尺八についてのお話とも興味を持って聞くことができ、関心も深まった。
15	玉野市立 玉原小学校	目 標	和楽器の鑑賞や演奏体験を通して、和楽器に親しみをもつとともに、日本の伝統文化の良さを知る。
		講 師	[箏曲] 三上 澄美 [尺八] 藤原 匠山
		対象者	5年生31名、6年生38名
		日 時	①令和3年1月12日(火) 14:00～15:30 ②令和3年1月13日(水) 9:00～10:30
		内 容	・「春の海」の鑑賞 ・箏、尺八についての説明(歴史、楽器のつくり) ・箏の演奏体験「きらきら星」「もののけ姫」
		成 果	ほとんどの児童が触れたことのない箏・尺八について知るとともに、実際に演奏してみることで、より身近なものとして和楽器の良さを感じることができた。教科書やCDだけでは得られない貴重な機会となった。
16	総社市立 総社北小学校	目 標	和楽器のひびきと旋律の美しさを味わうことができる。
		講 師	[箏曲] 内藤 育子 [尺八] 荒川 菊山
		対象者	5年生27名
		日 時	令和2年12月4日(月) 13:40～15:20
		内 容	・箏、尺八の鑑賞、楽器の紹介 ・箏、尺八の演奏体験 ・ミニ発表会
		成 果	日本の伝統的な和楽器への理解を深めることができた。
17	総社市立 池田小学校	目 標	本校には邦楽の楽器はあるものの、指導者等の都合で活用できていない。本物の音色を聞いたり、触れたりする機会も多くない。今年度も子どもたちにぜひ実際の演奏の様子や音色を味わわせたい。
		講 師	[箏曲] 内藤 育子 [尺八] 荒川 菊山
		対象者	5年生5名、6年生5名
		日 時	令和3年1月15日(金) 13:50～15:20
		内 容	・講師の先生方による模範演奏 ・2グループに分かれて箏・尺八の演奏の仕方を教わりながら、演奏体験をした。 ・成果発表として2～3人ずつで「さくらさくら」の演奏をして聞き合った。
		成 果	・子どもたち一人ひとりが箏、尺八の体験をすることで、音が出せた喜びや音を出すことの難しさを味わうことができた。 ・本物の箏、尺八の演奏を身近で味わうことで、邦楽に親しみをもつことができた。
18	総社市立 総社東小学校	目 標	日本の伝統的な音楽を教材として扱うため、箏を学校にたくさん保有しているが、専門的に指導してもらいたい。
		講 師	[箏曲] 内藤 育子 [尺八] 荒川 菊山
		対象者	5年生57名
		日 時	令和3年1月22日(金) 13:50～15:25
		内 容	箏と尺八の演奏を聞き、2グループに分かれて2つの楽器に触れたり、実際に演奏してみたりして、日本の伝統楽器に関心をもつ。
		成 果	日本の伝統的な音楽を聞き、実際に楽器に触れ演奏したり、演奏の仕方を教えていただいたり、興味・関心が高まった。

番号	学校名	講座詳細	
19	浅口市立 金光竹小学校	目 標	・4年生（3年生合同）「日本の音楽でつながろう」、5年生「日本の音楽に親しもう」、6年生「日本や世界の音楽に親しもう」の一環。 ・本物の和楽器に触れることで、理解を深め、身近に感じることができるようにする。
		講 師	[箏曲] 仲達 泉 [尺八] 佐藤 秧山
		対象者	3～6年生33名
		日 時	①令和3年1月19日（火）9：35～11：30 ②令和3年1月21日（木）9：35～11：30
		内 容	[第1回] 尺八の楽器の仕組みを数種類の楽器を見ながら講師より聞いた。さらに講師による尺八の演奏を目の前で聞くことで、演奏の仕方を知ることができた。そして、箏の楽譜の読み方を教わり、「さくらさくら」を弾けるように練習した。 [第2回] 前回の続きで「さくらさくら」を練習。3・4年生は最後まで弾けるように、交代して何度も弾いた。5・6年生は姿勢や爪の当て方なども指導してもらい、よりよい演奏になるよう練習した。どちらの学年も、後半に、講師による尺八のオブリガードや箏による「春の海」「花は咲く」の演奏を聞き、和楽器の良さを体感することができた。
成 果	今回10面お借りし、二交代制で練習することができ、児童が多く箏に触れることができ、大変ありがたかった。また「さくらさくら」を演奏するだけでなく、尺八・箏と一緒に演奏することで、和楽器の音色の良さを肌で感じることができた。更に、講師二人による「春の海」「花は咲く」の演奏を間近で聞くことができ、和楽器をより身近に感じることができた。児童から、日本ならではの音色がきれいだった。伝統を守っていきたいと思った。という感想が上がっていた。		
20	鏡野町立 奥津小学校	目 標	日本の伝統的な音楽や楽器に触れ、音色や音楽に親しみ豊かな心を育てる。
		講 師	[箏曲] 定森 智子、中尾 美鈴 [尺八] 片山 羚山
		対象者	4～6年生29名
		日 時	令和3年1月27日（水）10：40～12：20
		内 容	・楽器演奏、説明 ・体験
成 果	普段は触れる機会の少ない和楽器に親しむことができ、とても貴重な体験となった。今回は尺八の体験ができず、残念がる児童がたくさんいた。毎年楽しみにしているので、来年度もぜひ体験させたい。		

【和太鼓】

1	岡山市立 御津南小学校	目 標	・指導を通して、技術を身に付けのびのびと真剣に演奏できるようになる。 ・礼儀作法を身に付け、きびきびと行動できるようにする。
		講 師	田中 みずほ
		対象者	6年生24名
		日 時	①令和2年6月4日（木）9：45～10：30 ②令和2年7月2日（木）9：45～10：30 ③令和2年9月25日（金）9：45～10：30 ④令和2年10月29日（金）9：45～10：30
		内 容	和太鼓指導
成 果	・日本の伝統音楽への興味・関心が喚起され、回を追うごとに練習への取り組み方が主体的になり、基本的な演奏技術を身に付けることができた。 ・運動会や地域の公民館まつりで演奏を披露し、参加者から賞賛されたことで演奏に自信をもち、自己有用感を高めることができた。		
2	岡山市立 庄内小学校	目 標	日本に古くから伝わる伝統的な文化の良さに気づき、それを大切にしようとするようになる。
		講 師	塩尻 司
		対象者	5年生107名
		日 時	①令和2年6月17日（水）9：40～12：30 ②令和2年9月23日（水）9：40～12：30
		内 容	・和太鼓の概要 ・基本の打ち方、リズム ・八木節
成 果	和太鼓独特の響きや打ち心地とともに、講師の打つ姿や出す音の質の高さを体感し、西洋の打楽器とは異なる魅力に気づき、保存の必要性を感じることができた。		
3	岡山市立 中山小学校	目 標	和太鼓の練習を通して、児童同士の共通の話題作りや、奏法・所作の教え合い活動によるコミュニケーション力の向上を目指す。 ・演奏技術の習得による自尊感情を育むことを目指す。
		講 師	田中 みずほ
		対象者	特別支援学級1～3年生18名
		日 時	①令和2年9月18日（金）13：30～14：30 ②令和2年10月23日（金）13：30～14：30 ③令和2年10月30日（金）13：30～14：30 ④令和2年11月6日（金）13：30～14：30
		内 容	・和太鼓の基本の奏法指導 ・本校の歴史を唄う「日本一音頭」「豊地」の2曲の実施指導 ・日本のあいさつ、所作の指導
成 果	和太鼓の練習を通して、児童同士が自分から友だちに関わろうとしたり、声をかけ合ったりする姿が見られた。参観日で発表することを目指して取り組んだため、どの児童もよく練習し、技術の向上もしていき、達成感をもつことができた。		
4	岡山市立 古都小学校	目 標	コロナウイルスの影響で、地域のお祭りの開催などが危ぶまれ、様々な活動が制約される中で、地域伝統である「古都音頭」などを次世代に受け継ぐため、可能な限り子どもたちに和太鼓演奏の機会を設けたい。
		講 師	田中 みずほ
		対象者	1～5年生40名
		日 時	①令和2年10月5日（月）16：00～17：00 ②令和2年10月9日（金）16：00～17：00 ③令和2年10月12日（月）16：00～17：00 ④令和2年10月16日（金）16：00～17：00
		内 容	1～2年生は「切手のないおくりもの」「クロネコのジジ」を練習し、とにかく楽しそうに初めての和太鼓演奏を楽しんでいた。3～5年生は「クロネコのジジ」と、打ち方の難しい太鼓ばやし「豊地・閃光」にも挑戦した。
成 果	昨年までは、講師の出前講座と自主練習を合わせて10回以上太鼓の練習を行っていたが、今年度は、出前講座の4回のみで開催となった。1～2年生は、初めて和太鼓を体験する児童が多かったため、太鼓の演奏を楽しむことを第一に練習し、3～5年生は、経験者が多いので演奏のスキルアップを目標に、充実感の得られた練習となった。コロナウイルス対応のため、全体練習ができなかったのが課題として残ったが、開催時期を夏から秋に変更したことで、マスクをつけての練習が可能となり、次年度以降の開催についても、ある程度の可能性が見えてきた。		

番号	学校名	講座詳細	
5	倉敷市立 穂井田小学校	目 標	学芸会に向けて、和太鼓のたたき方や基本的な所作を身に付け、太鼓の曲を演奏することができるようにする。
		講 師	塩尻 司
		対象者	5・6年生13名
		日 時	①令和2年9月2日（水）10：00～12：00 ②令和2年11月5日（木）10：00～12：00
		内 容	初回は、和太鼓の基本的なたたき方を教わった後、課題曲を一通り練習した。2回目は、部分練習、所作、姿勢、あいさつなど、本番に向けての練習をした。
		成 果	最初は不安そうにしている児童もいたが、練習を重ねていくうちに、集中しながら楽しく演奏できるようになった。2回目の練習では、強弱のつけ方や、移動の仕方などを学び、本番に向けての意欲が高まった。
6	玉野市立 玉小学校	目 標	毎年6年生の総合的な学習の時間では、日本の伝統文化について調べている。その中でいくつか体験学習を取り入れ、より理解を深めていきたいと考えている。和太鼓体験学習を通して、パチの持ち方や簡単な演奏を教えていただき、和太鼓の演奏に慣れ親しむことができるようにしたい。
		講 師	塩尻 司
		対象者	6年生22名※特別支援学級を含む
		日 時	①令和2年7月9日（木）14：00～14：45 ②令和2年7月14日（火）14：00～14：45 ③令和2年7月28日（火）10：55～11：35 ④令和2年7月30日（木）10：55～11：35
		内 容	・オリエンテーション：パチの持ち方、太鼓の歴史、太鼓の部位の名称 ・演習：オリジナル曲（講師作曲）の演奏練習
		成 果	和太鼓を演奏するための基礎を学ぶとともに、友だちと気持ちを合わせて演奏する楽しさを感じることができた。
7	備前市立 吉永小学校	目 標	総合的な学習の時間に、日本の宝物として日本の伝統について調べ、その中で和太鼓を体感し、さらに日本を愛する心を育てる。
		講 師	田中 みずほ
		対象者	6年生33名
		日 時	①令和2年10月29日（木）14：00～15：00 ②令和2年11月2日（月）9：30～11：30 ③令和2年11月11日（水）10：45～11：45
		内 容	和太鼓の演奏、礼儀作法
		成 果	日本が昔から大切にしている礼儀や和太鼓演奏の楽しさと難しさについて体得するとともに、友だちと力を合わせることを学んだ。
8	赤磐市立 城南小学校	目 標	日本の伝統的な楽器に親しむとともに、目標に向かって練習を重ねることの大切さを実感し、身に付けた技能を表現することができる。
		講 師	塩尻 司
		対象者	6年生15名
		日 時	①令和2年7月1日（水）10：45～11：45 ②令和2年7月10日（金）10：45～11：45 ③令和2年10月2日（金）10：45～11：45 ④令和2年10月27日（火）10：45～11：45
		内 容	和太鼓の歴史や太鼓の音がつ意味等の講話からスタートした。同じ拍を正確にたたく基本的な練習、太鼓をたたく以外の所作、そして楽譜に沿った音の強弱などを練習した。
		成 果	和太鼓の魅力、音の迫力に引き込まれ一生懸命練習に取り組んだ。学習発表会では、全校児童や保護者の前で演奏を披露する予定である。
9	赤磐市立 山陽西小学校	目 標	本校には器楽・西小太鼓クラブがあり、18年間、講師にクラブの指導をしていただいている。子どもたちの演奏技術だけでなく、姿勢や作法、心意気などの指導を受け、心身ともに高まっており、伝統のクラブとして継続していきたい。
		講 師	田中 みずほ
		対象者	4～6年生8名
		日 時	①令和2年11月30日（月）14：45～15：45 ②令和2年12月14日（月）14：45～15：45 ③令和3年1月25日（月）14：45～15：45
		内 容	例年であれば1・2学期に4回出前講座をお願いしていたが、今年度は新型コロナウイルス感染症による休校等の都合で、2学期から3学期にかけて3回講座を行っていただいた。礼の仕方や構え方、たたき方などを丁寧に教えていただき、また校内発表用の曲についても熱心に教えていただいた。
		成 果	初めて太鼓クラブに入る児童もいたが、レベルの高い指導を受けることで、子どもたちが楽しく練習したり、自信をもって演奏ができるようになったりする姿が見られた。
10	矢掛町立 小田小学校	目 標	運動会、学芸会での発表を目標として、礼儀・作法を身につけ伝統の和太鼓のたたき方や所作を身につけることにより、小田地区に伝わる文化を伝承していこうとする心と態度を育てる。
		講 師	田中 みずほ
		対象者	5・6年生26名
		日 時	①令和2年9月10日（木）9：30～10：30 ②令和2年9月24日（木）9：30～10：30 ③令和2年10月8日（木）9：30～10：30 ④令和2年10月15日（木）9：30～10：30
		内 容	・基本的な礼儀作法 ・和太鼓のたたき方、演奏
		成 果	本年度は6年生は昨年経験をもとに自信をもって学ぶことができた。5年生はたたき方などの基礎から学び伝統ある太鼓演奏を行う喜びを感じることができた。発表はこれからであるが活躍してくれるものと確信している。
11	なかよし保育園	目 標	・和太鼓を通じて、礼儀作法を身に付ける ・和太鼓を演奏する楽しさを知り、皆で一つの事に取り組むよさを味わう
		講 師	田中 みずほ
		対象者	35名（5歳児クラス）
		日 時	①令和2年7月9日（木）14：00～14：45 ②令和2年7月14日（火）14：00～14：45 ③令和2年7月28日（火）10：55～11：35 ④令和2年7月30日（木）10：55～11：35
		内 容	・和太鼓の礼儀、作法、挨拶の仕方などの指導 ・和太鼓のたたき方（姿勢、構えなど）の指導 ・音楽に合わせての和太鼓演奏（「日本一音頭」など）
		成 果	・和太鼓の所作、たたき方や礼儀作法を身に付け意欲的に取り組むことができた。 ・友だちや保育者と演奏を楽しみ、最後までやり遂げる喜びや達成感を知ることができた。

【銭太鼓】

番号	学校名	講座詳細	
1	高梁市立 福地小学校	目 標	地域の指導者が引退されたのを機に、プロから本格的に指導を受け、個々の児童の技術をあげて、より深い達成感を味わい、地域貢献にも一役を担えるようにする。
		講 師	宮坂 一樹
		対象者	全学年14名
		日 時	①令和2年9月7日（月）13：50～14：35 ②令和2年10月5日（月）13：50～14：35 ③令和2年11月2日（月）13：50～14：35 ④令和2年11月9日（月）13：50～14：35
		内 容	銭太鼓の技術指導 「Rising Sun」「パプリカ」の2曲を通して
成 果	昨年度からの演目「Rising Sun」では、細かいポイントを丁寧に教えてくださり、より完成度を高めることができた。今年度初めての「パプリカ」では本校児童に合った振付を考えてくださり、やりがいをもって学習することができた。プロの方の考え方を小学生に分かるように伝えてくださり、良い学びになった。		

【茶道】

1	岡山市立 三門小学校	目 標	日本の伝統文化について知ることができる。本物の茶道を体験することで、日本の伝統文化の素晴らしさに気付く。
		講 師	岡田 幹子
		対象者	6年生48名
		日 時	令和2年9月10日（木）14：05～15：45
		内 容	茶道について、作法や茶室（掛け軸や花）等のお話。茶道体験。
成 果	実際に体験することにより、伝統文化に興味・関心を持つことができた。茶道の基本的な考え方であるおもてなしや相手への思いやりが、作法に通じていることに気付くことができた。		
2	岡山市立 福浜小学校	目 標	茶道の作法や礼儀の習得を通して、伝統文化に親しむ。
		講 師	齊藤 京子
		対象者	茶道クラブ4～6年生13名
		日 時	①令和2年10月12日（月）14：45～15：30 ②令和2年11月9日（月）14：45～15：30 ③令和2年12月14日（月）14：45～15：30 ④令和3年1月25日（月）14：45～15：30
		内 容	・茶道の作法（袱紗捌き、お点前等） ・礼儀の習得（立ち方、座り方、お辞儀等）
成 果	袱紗捌きや茶巾のたたみ方、お点前等ができるようになった。礼儀の習得によって、相手をもてなすという意識を持つことができるようになった。		
3	岡山市立 五城小学校	目 標	今につながる室町文化の一つとして、児童に茶道体験をさせたい。茶道を通じて、歴史の面白さや先人の知恵について学ぶ。
		講 師	富士原 宗由
		対象者	6年生10名
		日 時	令和2年11月18日（水）13：25～14：10
		内 容	・茶の湯の歴史についての講義 ・茶道におけるおもいやりの心について学ぶ ・実際のお茶の点て方や飲み方を体験する。
成 果	古くから日本で親しまれてきた文化の歴史を知り、体験できたことで、伝統が続いていく理由や意義を感じていた。児童からの質問にも熱心に応じていただき満足していた。		
4	玉野市立 鉾立小学校	目 標	日本文化を体験することにより、日本の伝統文化に関心をもち、理解を深めることができる。
		講 師	宮本 京子
		対象者	6年生15名
		日 時	①令和2年7月15日（水）11：40～12：25 ②令和2年11月18日（水）11：40～12：25 ③令和3年2月10日（水）11：40～12：25
		内 容	・茶道の作法 ・礼儀の習得
成 果	日本の伝統文化である茶道の作法を学び、作法一つひとつ意味があることに気付き、茶道の奥深さを感じる事ができた。		

【華道】

1	岡山市立 足守小学校	目 標	総合的な学習の時間に「体験しよう日本の伝統文化」として、古くから日本人々に大事にされてきた華道を体験させたい。またその歴史や奥深さに触れさせたいと考え、計画した。
		講 師	吉野 和江、佐藤 敬子
		対象者	5年生29名
		日 時	令和2年10月7日（水）10：50～12：30
		内 容	最初に華道の歴史や生け方を教えていただいた。その後、花材の説明や生け方のポイントを教わり、実際に花器に生ける活動を行った。最後に感想を発表したり記念の写真を撮ったりした。
成 果	児童はとても生き生きと活動に取り組み、花を生けることの楽しさをしっかり体験することができた。また華道の奥深さも実感することができた。		
2	岡山県立 倉敷琴浦 高等支援学校	目 標	花に触れ、表現力や集中力を身につけることを目的としている。
		講 師	清水 豊紀
		対象者	3年生24名
		日 時	①令和3年2月22日（月）10：55～12：40 ②令和3年2月25日（木）10：55～12：40
		内 容	・準備していただいた花を各自の表現で生けることを行った。 ・コサージュの作成をした。
成 果	生徒たちは、初めての経験に新鮮な気持ちで集中して取り組んでいた。		

【狂言】

番号	学校名	講座詳細	
1	真庭市立 北房小学校	目 標	社会科で学習した室町文化の体験及び国語科の狂言「柿山伏」に触れることで、日本の伝統的な文化に対する理解を深める。
		講 師	田賀屋 夙生
		対象者	6年生37名
		日 時	令和2年10月20日（火）9：45～11：30
		内 容	・狂言の成り立ちや特徴の説明。 ・「柿山伏」の実技体験
成 果	初めて見る本物の狂言に興味・関心を持って体験することができた。教科書での学びを深め、日本の文化について新たな気付きを得ることができた。		
2	瀬戸内市立 行幸小学校	目 標	日本の伝統文化の一つである狂言について、実際の狂言を見たり、体験したりすることによって、日本文化の良さに気付き、伝統文化に対する理解を深める。
		講 師	田賀屋 夙生
		対象者	6年生57名
		日 時	令和2年11月16日（月）10：35～12：05
		内 容	・狂言の解説 ・「柿山伏」の解説、実演、体験
成 果	狂言師から直接狂言についての説明を聞き、体験させていただいたことにより、狂言への興味を持ち、日本の伝統文化について理解を深めていこうという積極的な態度が見られるようになってきた。		

【七宝】

1	玉野市立 胸上小学校	目 標	伝統文化についての学習の一環で、受け継がれる理由や七宝焼の良さを学ぶ。また、講師の技を実際に見ることや体験することで、興味・関心を深めたい。
		講 師	岩本 文子
		対象者	6年生13名
		日 時	令和2年11月20日（金）9：45～11：15
		内 容	・伝統工芸に対する理解と関心を促す。 ・ワークショップで七宝の作品を制作する。
成 果	七宝焼の歴史を知り、児童の興味・関心を深めることができた。その後、実技を通して、七宝焼の難しさや美しさを感じることができた。また、完成したときの喜びも感じることができ、よい経験になった。		

【書写】

1	岡山市立 浮田小学校	目 標	書き初め展に向けて、文字を整えて書くことを指導していただく。
		講 師	柴原 靖彦
		対象者	1・2年生49名
		日 時	①令和2年12月3日（木）9：35～11：30 ②令和2年12月10日（木）9：35～11：30
		内 容	書き初め展（硬筆）で、普段は馴染みのない白紙に文字を書くときには、文字の中心をそろえることや、文字の形で気をつけるポイントなどを、丁寧に教えていただいた。
成 果	中心をそろえよう、形に気をつけよう、文字の大きさに気をつけようなどの意識をもって、以前よりも整った文字を書くことのできる児童が増えた。		

【陶芸】

1	岡山市立 芳明小学校	目 標	備前焼作りを通して、社会科の備前焼の学習を深める。
		講 師	大饗 利秀、豊田 賢潔、藤原 章
		対象者	4年生88名
		日 時	令和2年10月21日（水）10：50～12：30
		内 容	・DVD鑑賞 ・見学、質問…菊ねり、電動ろくろでの形づくり（湯呑、徳利、大皿） ・備前焼づくり体験…鉛筆立て（ひもづくり）
成 果	職人の技術を見学でき、色々な作品が手際よく出来上がるすばらしさに感動していた。体験では、実際に粘土に触れて表面を滑らかにしたり、模様をつけたりする中で、難しさや楽しさを感じることができた。備前焼について、より知識を深めることができた。		
2	岡山市立 旭操小学校	目 標	社会科で学習する備前焼について、実際に本物の土に触れたり、自分の作品を作ったりすることで、備前焼作りの大変さや奥深さを理解し、備前焼への愛着を育む。
		講 師	森 和彦、松本 篤治、赤井 夕希子
		対象者	4年生92名
		日 時	令和3年1月16日（土）8：50～10：30
		内 容	実際に本物の備前焼作家に作り方を教えていただき、自分の作品を作る。作品は後日焼成していただき、児童に渡す。
成 果	社会科で学習した備前焼き作りに自ら関わることで、本物の備前焼の良さや作る方法の工夫を体験的に学ぶことができた。自分の作品を作ることでより親しみももてた。		

【染織】

1	新見市立 刑部小学校	目 標	・身近にある野菜の「食べる」以外の活用法を知ることができる。 ・調理をするときに何気なく捨ててしまっている皮にも、生活に役立つ活用法があることに気付くことができる。
		講 師	藤久 一穂
		対象者	2年生13名
		日 時	令和2年10月7日（水）9：30～12：00
		内 容	事前作業：ハンカチを豆乳に浸し、天日干しをする。 1.染物についての話を聞く 2.染める（ハンカチを水につける。煮汁に入れる。媒染液に入れる。煮汁に入れる。） 3.まとめをする（感想を書いて発表する）
成 果	子どもたちは、玉ねぎの皮を使って染め物ができることを知ることができた。また、糸や布は動物や植物からできていることも知ることができた。そして、身近にある野菜や植物にも生活に役立つ活用法があることに気づくことができた。		

【俳句】

番号	学校名	講座詳細	
1	津山市立 南小学校	目 標	言葉を吟味し、推敲する力を育てる。
		講 師	右手 敦子
		対象者	6年生26名
		日 時	令和3年2月26日（金）13：45～15：20
		内 容	・俳句の説明、西東三鬼の説明 ・俳句をみんなで選ぶ ・自分が選んだ俳句についてコメントする ・講師からの総評
成 果	俳句に親しみ、背景まで考えるなどの思考も深まった。		

【選択授業】

1	岡山市立 西大寺南小学校	茶道/華道	目 標	[茶道] お客をもてなす茶道の伝統に触れ、文化のすばらしさを感じる。当時の人々は、争いの世界に身をおきながら、茶道を通して心の安らぎを求めていたことを理解する。 [華道] 華を通して生活に彩を加える華道の伝統に触れ、文化のすばらしさを感じる。当時の人々は、争いの世界に身をおきながら、華道を通して心の安らぎを求めていたことを理解する。
			講 師	[茶道] 宮本 京子 [華道] 吉野 和江、佐藤 敬子
			対象者	6年生36名（茶道19名、華道17名）
			日 時	令和2年10月2日（金）8：45～10：20
			内 容	[茶道] ・お茶を飲むときの作法 ・和菓子のいただき方 ・気持ちを姿勢で表す方法 [華道] ・華道の歴史、簡単な流派の話 ・華の生け方と個性についての話 ・様々な華の良さを生かして自分らしい作品を作る
成 果	[茶道] 児童の理解の様子に合わせ、丁寧に具体的に茶道についてのお話や指導をいただいた。お茶の点て方や和菓子のいただき方等、普段の生活の中では体験しがい内容に児童も多くのごを学ぶことができた。 [華道] 花の向きや高さを考えながら、自分らしい作品を作ることができた。正解を伝えるのではなく、自由に自分らしく表現することが大切であるというメッセージが児童にも大きな学びとなった。			
2	岡山市立 幡多小学校	茶道/華道/和太鼓/ 銭太鼓/水墨画	目 標	[茶道] [和太鼓] 総合的な学習の時間に、下学年への発表に向けて、日本の文化を学び、様々な表現方法で伝えていく活動を予定しているため、学習として受講を希望した。 [華道] [水墨画] 総合的な学習の時間に、下学年に日本の伝統文化の良さを伝える計画をしているため、体験を通して伝統の技を知り、そのすばらしさを学ぶことを目的とする。 [銭太鼓] 日本の文化を学び、学んだことを新聞にまとめたり、下学年に発表したり、様々な表現方法で伝えていく活動を予定しているため、そのための学習として受講を希望した。
			講 師	[茶道] 藤井 宗真 [華道] 吉野 和江、佐藤 敬子 [和太鼓] 田中 みずほ [銭太鼓] 宮坂 一樹 [水墨画] 井上 勇
			対象者	3年生147名（茶道20名、華道32名、和太鼓32名、銭太鼓32名、水墨画31名）
			日 時	令和2年10月9日（金）9：15～11：00
			内 容	[茶道] 1.茶の歴史講義 2.お茶の作法やお菓子の食べ方 指導+実演 3.実践 [華道] 1.華道の基本講義 2.生け花体験 3.感想発表 [和太鼓] 1.あいさつなどの礼儀作法について 2.唱歌をパート別に練習 3.全体で曲に合わせる [銭太鼓] 1.銭太鼓の説明 2.技の練習（持ち方・姿勢） 3.実技「鬼滅の刃」のテーマ曲に合わせて [水墨画] 1.水墨画の基本講座 2.水墨画体験 3.感想発表
成 果	[茶道] お茶の歴史や作法について分かりやすくくり返しご指導いただき、子どもたちは楽しく体験することができた。講師の先生にはコロナ禍の中、丁寧に気を遣ってくださり、大変ありがたかった。子どもたちはうれしそうに感想を言っていた。 [華道] 花の種類や華道の歴史を学んだ後、実際に作品を制作したことで児童は自分の発想を生かして表現する楽しさを体験することができた。講師の先生方には細やかにご指導いただき感謝している。 [和太鼓] 日本の礼儀作法について分かりやすく例を示しながら教えていただき、意欲的に覚えることができた。和太鼓のリズムを絵や言語でイメージしやすく教えていただいたので、どの児童も打ち方を覚えることができた。 [銭太鼓] 銭太鼓の持ち方、構え、姿勢などの基本的なことから始まり、簡単な動きの指導をしていただいた。最終的に「鬼滅の刃」のテーマ曲に合わせて演技することができ、達成感を味わうことができた。先生方の本物の演技も食い入るように見せていただいた。 [水墨画] 水墨画の基本について学んだり、作品を鑑賞したりした後、実際に作品を制作した。児童は伝統の技を生かしながら表現しようと工夫し、楽しむことができた。講師の先生方には、細やかな声かけをしていただき、感謝している。			
3	岡山市立 高島小学校	尺八/鼓	目 標	日本の伝統文化を体験することにより、古くから伝わる日本の文化に対する理解を深め、自分と生活とのつながりを考えることができるようにする。
			講 師	[尺八] 塩治 尺山 [鼓] 望月 天津友
			対象者	6年生42名（尺八15名、鼓27名）
			日 時	令和2年11月20日（金）9：30～11：30
			内 容	[尺八] 箏・尺八の迫力ある演奏を聞いた。尺八は楽器の成り立ちや演奏の仕方を教えていただき、箏は実際に演奏をして体験した。 [鼓] 伝統文化についてのお話を聞く。また、鼓のつくりや持ち方、構え方、演奏の仕方を教えていただき、演奏する。
成 果	[尺八] 箏・尺八それぞれの楽器について知り、体験を楽しむことができた。また、古くからある日本文化について理解を深めることができた。 [鼓] 鼓について知り、演奏を楽しむことができた。また、鼓にはいろいろな命が宿っており、それを人が人へ受け継いでいくことが伝統文化を守ることにつながり、これからの未来を作る子どもたちの使命だというお話から、伝統文化の大切さや自分にできることを実感することができた。			

番号	学校名	講座詳細	
4	倉敷市立 第五福田小学校 茶道/華道/水墨画	目 標	室町時代に生まれた文化が、今の私たちの生活に身近なものであることに気付くとともに、当時の人々の見方や考え方を理解することができるようにする。
		講 師	[茶道] 旭瓜 宗都 [華道] 尾崎 好子、土谷 幸子 [水墨画] 井上 勇
		対象者	6年生38名(茶道10名、華道17名、水墨画11名)
		日 時	令和2年10月2日(金) 9:30～11:30
		内 容	[茶道] 茶の伝来など [華道] 歴史、四季の花、道具説明。講師デモンストレーション。実習。鑑賞。 [水墨画] 室町文化体験
成 果	[茶道] 茶をたしなむことが茶道として大成していく歴史的な流れを子どもたちはつかむことができた。またお茶を飲む所作の中に様々な礼儀作法があり、一つひとつ体得していくうちに、児童の心が豊かになっていくのが分かった。お茶やお菓子をいただきながら、子どもたちが友だちと喜びを共感していく様子が印象的だった。 [華道] 講師の先生方の言葉が児童に響いたようで、ふり返りのノートに大切なことが記録として残っていた。また花を美しくかざるにはどうしたら良いのか試行錯誤したことを通して、室町時代の人々が花を生けることに面白さや楽しさを感じていたことが実感できた。ただかざるのではなく、生けて楽しむことが理解できた。 [水墨画] 墨でいろいろなものが表現できることを知り、児童もとても満足そうだった。できた作品を大切に持ち帰っていた。水墨画の良さや面白さに気付けたことで、室町時代に水墨画を描いていた人の感性を体感することができた。		
5	倉敷市立 琴浦中学校 茶道/華道/鼓/陶芸 /染織/絵画	目 標	総合的な学習の時間におけるSDGsの一環として伝統文化に触れ、経験することで自分たちが未来へとつなげていくために、どうしていけばいいのか、何ができるのかを考えるきっかけにしたい。
		講 師	[茶道] 旭瓜 宗都 [華道] 尾崎 好子、土谷 幸子 [鼓] 望月 太津友 [陶芸] 大饗 利秀 [染織] 藤久 一穂 [絵画] 森山 知己
		対象者	1年生148名(茶道16名、華道18名、鼓21名、染織34名、陶芸40名、絵画19名)
		日 時	令和2年11月20日(金) 13:40～15:30
		内 容	[茶道] 茶道に関する礼儀、マナー、歴史の講義。菓子の食べ方や、お茶の飲み方を実践しながら講義。 [華道] ①日本の歴史と華道の関わり(仏教の伝来や文化など) ②オアシスを使った生け花体験 ③自分でつくった作品の紹介とスケッチ [鼓]・鼓の価値、歴史についての話・鼓の稽古、発表 [陶芸] DVD鑑賞やろくろの実演を通して、備前焼の魅力について学び、粘土を使ったペン立て作りを行った。 [染織] SDGsにからめて、染液が自然素材であること、のれんで勝山の町を彩っているなど、仕事の紹介に始まり、柄の作り方やしぼり方を説明したのち、体験活動を行った。 [絵画] ①牡蠣がらから作った吉備胡粉と、にかわをといて、絵具を作る。また、岡山にある材料ペンガラと二色を使って、和ハガキに絵の具をのせるように絵を描く。 ②絵を乾かす時間で、日本画の歴史、材料、制作の話などを映像を使って学習した。
成 果	[茶道] 茶道に関する知識や技術を丁寧に指導していただき、充実した時間を生徒が過ごすことができた。 [華道] 先生が生けてくださった作品を見て、生徒たちは目を輝かせていた。体験活動中は楽しそうに取り組む、時折真剣に花に向かい合って悩む姿も生徒が見せてくれた。生徒にとって、とても良い経験になった。 [鼓] 鼓の素材や価値について理解を深めるとともに、鼓ならではの作法や技法について学ぶことができた。厳しくも温かい先生の指導の下、良い演奏をしようと必死に頑張っている様子が見られた。 [陶芸] 地元岡山の伝統に触れ、意欲的に活動に取り組むことができた。 [染織] 体験活動では各自真剣な様子で取り組んでいた。自らイメージしたものを作っていく、輪ゴムを外すまで柄が分からない、ワクワク感なども見る事ができた。一人ひとり違う柄が出来上がり、楽しい活動となった。 [絵画] プロが使う絵の具を作る所から体験し、同じ工程での絵付けをした。SDGsにからめての話の聞き、真剣に取り組むことができた。水彩、油絵具などとの違いや筆の使い方なども教わった。		
6	赤磐市立 吉井中学校 箏曲・尺八/和太鼓	目 標	[箏曲・尺八] 尺八や箏の独特な旋律やリズム・音色の美しさ、様々な奏法の特徴を体験することにより、日本の楽器に親しむ。心情や伝統音楽を大切にしようという心を育てる。 [和太鼓] 和太鼓の独特なリズムや音色、様々な奏法の特徴を体験することにより、日本の楽器に親しむ心情や伝統音楽を大切にしようとする心を育てる。
		講 師	[箏曲] 狩野 章定、小坂 章雅 [尺八] 加東 吹山 [和太鼓] 塩尻 司
		対象者	全学年65名(箏曲・尺八36名、和太鼓29名)
		日 時	令和2年12月15日(金) 9:55～12:45
		内 容	[箏曲・尺八] 尺八と箏による模範演奏・尺八と箏の部屋を分けて、尺八はウイルス感染対策のため、体験はできないので先生の説明といろいろな奏法を見させてもらった。箏は体験演奏をした。 [和太鼓] 和太鼓や、歴史についての説明・演奏するときの姿勢や礼儀について・和太鼓の奏法やリズム打ちのご指導
成 果	[箏曲・尺八] 今年度は箏と尺八を半分ずつのグループに分けて、途中で交代したため時間的には短かったが、箏は実際に爪をつけて演奏の体験、尺八は楽器の歴史やいろいろな奏法を見せてくださり、生徒たちの和楽器への関心が深まった。 [和太鼓] 和太鼓についての知識や様々なリズムの奏法を教えていただき、また姿勢や礼儀の大切さを知り、伝統音楽の良さを感じ、和楽器への関心を深めることができた。		

■一般文化芸術部門■

【合唱】

(行政順・日程順)

番号	学校名	講座詳細	
1	岡山市立 大宮小学校	目 標	全校児童で歌う楽しさや表現する喜びを味わえるようにする。
		講 師	種田 光洋
		対象者	全学年25名
		日 時	①令和2年10月21日(水)13:40～14:25 ②令和2年10月28日(水)13:40～14:25 ③令和2年11月2日(月)10:55～11:40
		内 容	児童がのびやかに歌うための発声方法やより表現豊かに歌う方法
成 果	感染症対策のために、ソーシャルディスタンスをとって、フェイスシールドをつけて練習を行った。声が出しにくい状態だったが、歌詞の意味を理解し、伝えようという気持ちを強くもって歌うことを学び、子どもたちはみんなで歌うことの良さや楽しさを改めて感じる事ができた。		
2	岡山市立 朝日小学校	目 標	学習発表会の場で、子どもたち一人ひとりが、自信をもってしっかり声を出して歌えるようになってほしい。また、歌うことの楽しさやすばらしさを体験を通して実感してほしい。
		講 師	佐々木 英代
		対象者	全学年35名
		日 時	①令和2年10月23日(金)9:35～11:35 ②令和2年10月30日(金)9:35～11:35
		内 容	低学年(1・2年生)、中学年(3・4年生)、高学年(5・6年生)に分かれて、歌唱の指導をしていただいた。低学年は「夕焼け小焼け」、中学年は「もみじ」、高学年は「ふるさと」。児童の発達段階に合わせて、声の出し方や呼吸の仕方、歌声の意識の仕方などについて丁寧に分かりやすく指導いただく。
成 果	子どもたちの声が、ご指導いただいている間にもみるみる大きくなり、はじめはピアノの伴奏にかき消されていた声が、しっかりと聞こえるようになった。歌うときの表情もたいへんにこやかになり、自信も感じられるようになった。		
3	岡山市立 馬屋上小学校	目 標	学習発表会、卒業式に向けての合唱の上達
		講 師	佐々木 英代、鴨井 敦子
		対象者	全学年11名
		日 時	①令和2年11月2日(月)13:30～14:30 ②令和2年11月9日(月)13:30～14:30 ③令和3年2月26日(金)10:45～12:15
		内 容	発声練習で声の出し方を指導していただいた。「Wish」「旅立ちの日に」の二部合唱の指導や「エーデルワイス」の歌い方の指導をしていただいた。
成 果	腹筋を使って、頭上の発声で声が出るようになり、高音がきれいになった。息つぎの仕方や、二部に分かれるときの音のとり方を指導していただき、自信をもって歌えるようになった。		
4	岡山市立 第一藤田小学校	目 標	音楽発表会に向けて歌うときの発声の仕方や、その歌をどのように歌うか豊かな表現方法を身につける。
		講 師	畑山 香
		対象者	5・6年生86名
		日 時	①令和2年11月5日(木)10:55～12:30 ②令和2年11月9日(月)10:55～12:30
		内 容	歌うときの発声の仕方や発音、表現豊かに歌う方法を身につける指導。
成 果	歌を歌う機会がなく指導しにくい本年度の状況にもかかわらず、対策を講じながら本当に合唱を楽しむことができました。二部合唱にチャレンジして、児童が1時間の中でも自分達の歌声が変化していくを実感できた。		
5	倉敷市立 下津井東小学校	目 標	音楽専科がないので、合唱の指導をしていただく。
		講 師	種田 光洋
		対象者	3・4年生26名
		日 時	①令和2年7月13日(月)10:50～11:35 ②令和2年9月7日(月)10:50～11:35 ③令和2年10月26日(月)10:50～11:35
		内 容	・歌唱指導 ・発声指導
成 果	のびのびとした声で、大きな発声で歌唱することができた。音程も正しくとれる子が増えた。		
6	倉敷市立 本荘小学校	目 標	学習発表会に向けて、合唱について教えていただき、児童が生き生きと歌え、達成感を味わうことができるようにする。
		講 師	山下 典子
		対象者	4・5年生34名
		日 時	①令和2年9月18日(金)10:45～11:30 ②令和2年10月16日(金)10:45～11:30 ③令和2年11月6日(金)10:45～11:30 ④令和2年11月20日(金)10:45～11:30
		内 容	合唱の基本的な発声法や効果的な練習方法を教えていただいた。
成 果	4回の指導を通して、合唱の歌声や表情が格段によくなった。講師の熱いご指導のおかげで、歌う楽しさを感じ、一人ひとりが豊かな表情で美しい声で歌えるようになった。		
7	倉敷市立 柳井原小学校	目 標	基本的な発声法を身につけ、楽しんで歌うとともに、歌唱力の向上をはかる。
		講 師	山下 典子
		対象者	全学年36名
		日 時	①令和2年9月25日(金)9:25～10:10 ②令和2年10月27日(火)9:25～10:10 ③令和2年11月10日(火)9:25～10:10 ④令和2年11月24日(火)9:25～10:10
		内 容	・発声方法 ・歌唱指導
成 果	一人ひとりが自分の歌声に気をつけたり、腹式呼吸による発声法を身につけたりすることができた。		

番号	学校名	講座詳細	
8	倉敷市立 箭田小学校	目 標	1月の学習発表会に向けての合唱指導
		講 師	佐々木 英代
		対象者	4年生42名
		日 時	①令和2年9月29日（火）10：40～11：25 ②令和2年10月27日（火）9：35～10：20 ③令和2年11月20日（金）10：45～11：30 ④令和2年12月18日（金）10：25～11：05
		内 容 成 果	初回は音楽に関わる教師を対象に、研修をしていただく。指導の進め方、発声のポイント等とても参考になった。2回目からは児童に呼吸や息の使い方、音の重ね方等を指導していただく。毎回1時間の指導後は成長が感じられ、4回目終了後には声もそろい、体育館に声が響くようになった。
9	倉敷市立 乙島東小学校	目 標	学芸会で歌う曲を指導していただき、よりよい声を出す方法や合唱をする楽しさを知り、実践できるようにする。
		講 師	山下 典子
		対象者	4・5年生56名
		日 時	①令和2年10月2日（金）9：30～11：25 ②令和2年10月30日（金）9：30～11：25
		内 容 成 果	姿勢、発声の仕方、腹式呼吸などの声づくり。合唱曲の指導。歌うときの気持ちや心のもち方など。基本的な歌う姿勢や声づくりについて指導いただき、無理なくきれいな声が出せるようになった。歌詞の意味を考え、気持ちを込めて歌えるようになった。
10	倉敷市立 倉敷東小学校	目 標	歌うことの楽しさを味わうとともに、正しい姿勢や発声方法を知り、今後の歌唱活動に自ら生かそうとする。
		講 師	山下 典子
		対象者	5年生59名
		日 時	令和2年10月9日（金）8：45～10：25
		内 容 成 果	歌唱するときの正しい姿勢や発声方法。また、「Believe」を題材として、歌詞の意味を理解することと発声方法の関わりを意識しながら歌う。正しい姿勢や発声方法を知ることで、歌唱するときの細やかな意識が高まった。また、指導者自身にとっても、今後の歌唱指導の方向性が見つかった。
11	津山市立 院庄小学校	目 標	学習発表会、二分の一成人式、卒業式に向けての歌唱指導。
		講 師	鈴木 英子
		対象者	4・6年生44名
		日 時	①令和2年10月14日（水）10：35～11：20 ②令和2年11月11日（水）13：20～14：05 ③令和3年2月15日（月）10：35～12：15
		内 容 成 果	歌うときの姿勢、発声の仕方、歌の内容にふさわしい表現の仕方。また、言葉の発音、体の使い方、表情など細かい部分まで丁寧に教えていただく。45分間の指導だけでも、子どもたちの歌声や表情がみるみる変わり、すばらしい斉唱となっていた。
12	津山市立 清泉小学校	目 標	・子どもたちの歌唱力のレベルアップ ・歌の楽しさを知り、もっともっと音楽が好きになり、歌を進んで歌う子どもに育てる
		講 師	鈴木 英子
		対象者	3～6年生51名
		日 時	令和2年12月10日（木）10：40～12：20
		内 容 成 果	5・6年生「翼をください」、3・4年生「みんな元気で笑顔に！」児童作詞作曲のオリジナル曲の歌唱指導。腹筋を使う体操を取り入れ、どこに力を入れるか気付かせた。歌詞の意味や、声をどこへ飛ばすか助言を受けた。歌詞の意味を考えるようになり、表現がより豊かになった。お腹の筋肉を使うことで音量が増した。声を速くに飛ばせるよう、意識するようになった。楽しい体験ができた。
13	津山市立 東小学校	目 標	正しい発声法を学び、気持ちよく歌うこと、美しい声で歌うことの良さを体感させたい。
		講 師	鈴木 英子
		対象者	4～6年生107名
		日 時	①令和3年2月4日（木）13：50～15：30 ②令和3年2月18日（木）13：50～15：30
		内 容 成 果	歌唱指導 ・発声方法から表現の工夫の仕方を分かりやすく、楽しく指導していただき、曲想を考えながら、クラス全員で声を合わせて美しい声で合唱できた。 ・声の出し方、クラスでも使える練習法など、今後の指導にも生かすことのできる指導法を教えてもらうことができた。
14	津山市立 高田小学校	目 標	卒業式に向けて、4・5年生、6年生にそれぞれ歌唱指導をしていただく。卒業生・在校生、それぞれの立場で、式にふさわしい歌唱力の向上を目指す。
		講 師	鈴木 英子
		対象者	4～6年生63名
		日 時	令和3年2月9日（火）10：40～12：20
		内 容 成 果	4・5年生「明日へつなぐもの」 6年生「旅立ちの日に」 発音の仕方、音程、発声の仕方等、教えていただいた。 各学年、しっかり取り組めた。一人ひとりの意識も高まり、美しいハーモニーを奏でることができた。
15	総社市立 常盤小学校	目 標	合唱指導を通して、自然で無理のない響きのある歌い方で歌う技能を身につける。
		講 師	佐々木 英代
		対象者	4年生131名
		日 時	①令和2年9月30日（水）9：15～11：10 ②令和2年10月14日（水）8：25～10：00
		内 容 成 果	・正しい姿勢とプレスコントロールを用いた発声の仕方 ・高音部の歌い方 ・ソプラノとアルトに分かれて歌う場合のトレーニング方法 室内に残る自分の声（残響）を聞くことにより、声の響かせ方を意識して歌うことができた。

番号	学校名	講座詳細	
16	備前市立 伊部小学校	目 標	音楽発表会もしくは、学習発表会に向けた合唱指導の充実。
		講 師	桑原 直美
		対象者	4年生59名
		日 時	①令和2年10月2日（金）9：35～10：20 ②令和2年10月16日（金）10：45～11：30 ③令和2年10月30日（金）9：35～10：20 ④令和2年11月13日（金）10：45～11：30
		内 容 成 果	・発声練習 ・歌唱指導「太陽の五本指」 拍の取り方や鼻濁音の発声方法などについて教えていただく。 より自信をもって歌うことができるようになった。また、曲想を捉え、メリハリのついた合唱をすることができるようになった。
17	備前市立 西鶴山小学校	目 標	児童に合唱指導をしていただき、適切な発声法や歌唱法を身につける。
		講 師	佐々木 英代
		対象者	3～5年生25名
		日 時	①令和2年10月28日（水）9：35～11：25 ②令和3年1月27日（金）9：35～11：25
		内 容 成 果	発声の仕方では、姿勢や発音など、基礎から丁寧に指導していただく。 短い時間で子どもたちの声がとても変わった。どの児童もしっかり声を出し、のびのびと歌うことができた。
18	真庭市立 草加部小学校	目 標	卒業式の式歌の歌唱指導
		講 師	鈴木 英子
		対象者	6年生8名
		日 時	①令和3年2月5日（金）11：40～12：25 ②令和3年2月19日（金）11：40～12：25
		内 容 成 果	卒業生が卒業式で歌う式歌の歌唱指導をしていただいた。 よく声が出るようになった。気持ちを込めて歌うことや、一つひとつの言葉を丁寧に、はっきり歌うことができるようになった。
19	美作市立 土居小学校	目 標	・全校合唱に取り組むことで、友だちと声を響かせる楽しさを味わう。 ・音楽活動に親しみ、歌声を届ける喜びを感じる。
		講 師	鈴木 英子
		対象者	全学年50名
		日 時	①令和2年6月18日（木）11：15～12：00 ②令和2年10月29日（木）11：15～12：00 ③令和3年2月25日（木）13：35～15：10
		内 容 成 果	歌唱指導（合唱） 歌うことを楽しみ、合唱で友だちと声を響かすことができた。
20	美作市立 英田小学校	目 標	発表会に向けて、美しい発声や発音の仕方を学ぶ。
		講 師	鈴木 英子
		対象者	3・4年生29名
		日 時	令和2年11月6日（金）13：50～14：35
		内 容 成 果	口のあけ方、発音をしっかりすることで、ことばがはっきり伝わることを教えていただいた。頭声発声で響きのある歌声の出し方を学んだ。 ことばで気持ちを伝えるという意識をもって歌えるようになってきた。
21	美作市立 江見小学校	目 標	正しい発声法を学び、気持ちを込めて歌うこと、美しい声で歌うことの良さを体感させる。3・4年生は2月20日に行われる学習発表会の合唱で、6年生は卒業式の合唱で、すばらしい歌声を届けたい。
		講 師	鈴木 英子
		対象者	3・4・6年生70名
		日 時	①令和3年2月8日（月）9：35～11：25 ②令和3年2月12日（金）9：35～11：25
		内 容 成 果	・音楽の授業の中で、合唱練習を重ねていく。 ・講師の指導日を各学年（3・4・6年）1回ずつ設定する。発声法から発表曲の指導まで。 歌詞を音読して正しい発音、発声をしたり、意味を解釈してメッセージ性を伝える工夫をしたりして、心を込めて、丁寧に歌うことの大切さを学んだ。児童の声質が変わり、すばらしい歌声の合唱ができた。
22	浅口市立 金光吉備小学校	目 標	卒業式に歌う歌の歌唱指導
		講 師	山下 典子
		対象者	5・6年生72名
		日 時	①令和3年2月5日（金）9：35～11：00 ②令和3年2月26日（金）9：35～11：30
		内 容 成 果	・発声指導 ・歌詞の内容が伝わる歌い方について ・姿勢や発声方法 ・歌詞の大切さや表現法について教わり表現することができた。
23	鏡野町立 香々美小学校	目 標	卒業式で、校歌や卒業の歌を豊かに歌えるようにする。歌詞の理解、歌う楽しさを味わわせる。
		講 師	鈴木 英子
		対象者	全学年42名
		日 時	令和3年2月22日（月）9：35～11：25
		内 容 成 果	歌詞の読み取り。姿勢、発声、歌唱指導。 発音、曲の理解を意識して表現するようになり、美しい声が出るようになった。

番号	学校名	講座詳細	
24	美咲町立 美咲中央小学校	目 標	正しい発声の仕方を身につけ、響きのある美しい声で歌うことができるようにする。
		講 師	鈴木 英子
		対象者	1・4～6年生125名
		日 時	①令和2年10月28日（水）10：30～12：10 ②令和3年2月17日（水）10：30～12：10
		内 容	頭声発声、歌詞の伝え方、姿勢など、学習発表会や卒業式で歌う曲を使って、歌唱指導を受けた。
25	吉備中央町立 下竹荘小学校	目 標	年に一度の全校合唱は、児童のがんばる力を引き出し、達成感を得られる貴重な体験である。専門の先生に教えていただき表現力を身につけさせ、楽しさを感じとらせたい。
		講 師	佐々木 英代
		対象者	全学年16名
		日 時	①令和2年10月14日（水）13：15～14：00 ②令和2年11月11日（水）13：15～14：00
		内 容	音量が足りないという課題があったため、様々な発声練習の方法を教えていただいた。高音部と低音部に分かれる部分の音のとり方も丁寧に教えていただいた。
成 果	動物の声で発声練習、体を使って発声練習、場所を変えながら発声練習など、バリエーションを変えながら、楽しく発声練習をすることができ、大きな声で歌うポイントを意識して歌うことができたようになった。		

【吹奏楽】

1	岡山市立 津島小学校	目 標	本校には吹奏楽部があり、活発に活動しているが、校内の指導者の中には各楽器の専門家がいない。そこで、児童に専門的な指導をしてもらい、児童の演奏技能を高めたい。
		講 師	[打楽器] 仁城 英子 [トロンボーン] 原田 直郎 [サクソフォン] 土師 由美子
		対象者	吹奏楽部3～6年生18名（打楽器6名、トロンボーン7名、サクソフォン5名）
		日 時	[打楽器] ①令和2年8月1日（土）9：30～11：30 ②令和2年8月27日（木）13：30～15：30 [トロンボーン] ①令和2年8月24日（月）9：30～11：30 ②令和2年8月31日（月）13：30～15：30 [サクソフォン] ①令和2年7月31日（金）13：30～15：30 ②令和2年8月20日（木）9：00～11：00
		内 容	[打楽器]・基本講座（スティックの持ち方、構え方、拍の取り方、それぞれの打楽器の特徴について等） ・演奏曲「バンドのための民話」等の演奏指導（曲想に合った表現の仕方、各楽器の演奏方法等） [トロンボーン]・基本講座（楽器の構え方、姿勢、音の出し方、ロングトーン等） ・演奏曲「バンドのための民話」等の演奏指導（長く伸ばす、安定した音や音程合わせ、スライドの操作等） [サクソフォン]・基本講座（楽器の構え方、姿勢、音の出し方、リードのつけ方等） ・演奏曲「バンドのための民話」等の演奏指導（長く伸ばす、安定した音や音程合わせ、速いパッセージの奏法等）
成 果	[打楽器] ティンパニ、ドラム等、さまざまな打楽器の演奏方法や曲想に合った表現方法を教えてもらい、技能が格段に高まった。基礎練習等、演奏に必要なことを身につけることができた。 [トロンボーン] [サクソフォン] 専門家の音色を聞いて美しい音を出そうとする意欲が高まった。基礎練習等、演奏に必要なことを身につけることができた。曲を演奏する技能が高まった。		

【デザイン】

1	岡山市立 石井中学校	目 標	本や読書に興味を持っている生徒もいるが、興味の幅が広がらず偏りを感じている。より多くの生徒に偏らず幅を広げるきっかけを作ることができればと考え、身近な生徒（図書委員）から、いつもと違う方法で、発信できればと思った。
		講 師	山下 リール
		対象者	図書委員会1～3年生24名
		日 時	①令和2年7月14日（火）14：10～15：10 ②令和2年7月30日（木）10：50～11：50 ③令和2年8月26日（水）11：25～12：25
		内 容	・事前にブックデザインを行う本を各自決めておく。 [1回目] 講師の先生よりブックデザインとは何か説明を受け、実際に様々な作品を手に取り見せてもらう。各自ブックカバーか本の帯にするかを決め、下書きを行う。 [2回目] 下書きの続きから 下書きを終えたら仕上げていく。 [3回目] ブックデザインを完成させる。
成 果	・体験した図書委員の多くから、委員会の最後の振り返りの時、「ブックデザインが本当に楽しかった」「本をこのような方法で紹介することができ、良い経験になった」という感想が何人からも出ていた。新たなことに取り組む楽しさとやりがいを感じる事ができた。 ・校内の催し物（四つ葉祭）に作品を展示。ブックデザインをした本について、手に取るなど関心を示していて、中には本の貸出にもつながった。		

【写真】

1	岡山市立 岡山中央中学校	目 標	初心者には、デジタルカメラを使った基本的な撮影技術の習得。経験者には、自分のカメラ機能を最大限利用し、さらなる技術の向上。
		講 師	清水 健夫
		対象者	写真部11名
		日 時	①令和2年8月3日（月）9：00～11：00 ②令和2年11月21日（土）13：00～15：00
		内 容	・写真技術の講習会と実技指導。 ・作品の鑑賞を通して、より良い作品づくりへのアプローチの仕方を学ぶ。 ・作品、モデルへの敬意。 ・コミュニケーションの取り方について。
成 果	・少人数で、個人的に指導を受けることで、技術が著しく向上する。 ・作品の改良点や対象物の切り取り方を学ぶことで、作品をみる視点を養うことができた。 ・もっと上達したいという気持ちを生徒たちが持てた。		

【現代詩】

番号	学校名	講座詳細	
1	高梁市立 有漢西小学校	目 標	短いことばで表現する詩の創作ポイントについて、専門的に指導していただく。
		講 師	中尾 一郎
		対象者	全学年58名
		日 時	令和2年6月23日（火）9：25～12：05
		内 容	2学年ずつに分かれ、それぞれの学年に合わせて詩の書き方を指導していただく。五感を大切に書くことや、一番心に残った音やことばを初めに書くことよいことなどを一斉指導していただき、その後個別指導していただく。
成 果	「焼肉のおいしさをどこで感じるか？」という身近な話題から五感の大切さを引き出されたので、児童は興味を持って取り組めた。全員の詩を、高梁市文学選奨に応募する予定である。		

【作文】

1	瀬戸内市 牛窓中学校	目 標	新聞の投稿欄に応募する文章を書く活動を通して、文章の構成や表現の工夫、推敲のポイントを学び、書くことへの関心や意欲を育てる。
		講 師	北川 久美子
		対象者	1年生37名
		日 時	令和2年7月21日（火）9：00～10：50
		内 容	・ニュースや身の周りの話題から題材を決定し、400字程度の文章にまとめる。 ・書いたものを推敲することで、より読み手に伝わりやすい文章にする。
成 果	2時間の授業の中で、ほとんどの生徒が投書を書き上げることができた。講師の先生により点を褒めていただいたり、添削をしていただき表現することの楽しさを味わうことができ、自信につながったようである。		
2	赤磐市立 磐梨小学校	目 標	作文活動を通して書くことの楽しさを味わわせる。
		講 師	北川 久美子
		対象者	5・6年生27名
		日 時	令和2年9月2日（水）8：45～12：20
		内 容	事前に各児童が決めていたテーマについて作文を書き、添削してもらった上で清書した。折にふれ作文についての思いを教えていただく。
成 果	書くことに苦手意識をもっていた児童もいたが、書くことの楽しさを味わえた。表現することで自己肯定感も高まったと思われる。		

【話し方】

1	岡山市立 富山中学校	目 標	職場体験（今年度はそれに代わる行事）に向けて、話し方（あいさつ、礼の仕方、コミュニケーションの取り方）などを学びたい。
		講 師	中村 恵美
		対象者	2年生98名
		日 時	令和2年11月6日（金）14：30～15：45
		内 容	「あいさつ上手になって第一印象を良くしよう」から始まり、お辞儀の仕方や電話での対応、インタビューの実演など、生徒に分かりやすく講義をしていただいた。職業についても紹介してほしいという要望を聞いてくださり、仕事内容についても教えてくださった。
成 果	あいさつの大切さや、第一印象の重要性を知り、実践したり、実演を見ることで、講師の伝えられていた笑声についてより理解を深めることができた。とても意味のある時間となった。		
2	岡山市立 桑田中学校	目 標	・2年生キャリアアウイクスタート事業の一環として、社会人としてのマナースキルを身につける。 ・フリーアナウンサーである講師の生き方や職業観をお聞きし、人が生きていくうえで多くの人と関わり、喜びや苦しみなどを感じながら成長していることを感じとる。
		講 師	中村 恵美
		対象者	2年生255名
		日 時	①令和2年11月9日（月）13：40～15：00 ②令和2年11月16日（月）13：30～14：50
		内 容	・第一印象アップのポイント ・基本の発声練習 ・あいさつのポイント（電話でアポイントをとる、インタビューをする）実践講習
成 果	「マナー＝思いやり」という言葉に、マナーを守るとはどういうことか、身につけるとはどういうことかを理解できた。また講師の先生の人と人とのつながりの中で磨かれた、美しい話し方、人との接し方に、改めてコミュニケーションスキルの大切さを実感できていた。		
3	岡山市立 建部中学校	目 標	面接時や、これから社会に出ていく生徒たちにとって大切な、あいさつの仕方や接し方のマナーを身につけさせたい。
		講 師	中村 恵美
		対象者	2・3年生55名
		日 時	令和2年11月27日（金）13：40～15：30
		内 容	あいさつをする時や、人と接する時の心構え、印象をよくする方法を教えていただき、実際にあいさつや礼の実演もしていただいた。また、それがどのような未来を作るのかというお話もあった。
成 果	生徒は興味を持って、楽しく授業を受けていた。講師の話される姿に感銘を受け、自分もやってみようという気持ちを持つ生徒が多くいた。		
4	井原市立 稲倉小学校	目 標	・アナウンサー等の仕事に対するやりがいや思いについて知る。 ・アナウンス体験や朗読体験を通し、表現力・コミュニケーション能力の向上を図る。
		講 師	中村 恵美
		対象者	5年生13名、6年生10名
		日 時	①令和2年10月2日（金）10：25～12：05 ②令和2年10月16日（金）10：25～12：05
		内 容	・朗読を通して表現力の向上ができた。 ・インタビュー体験を通してコミュニケーション能力の向上ができた。 ・原稿を考え、工夫した話し方でアナウンス体験ができた。
成 果	・聞き手にとって分かりやすい話し方や、場に応じた表現の仕方を身に付けることができた。 ・自分の将来の夢について考えることができた。 ・聞き手が聞き取りやすい原稿内容を考え発表することができた。		

番号	学校名	講座詳細	
5	美咲町立 加美小学校	目 標	・自己表現が苦手な児童が多く、相手意識をもって話すスキルを身につけさせたい。 ・専門家の方から指導を受ける機会は、児童にとってとても刺激になり、技術向上に役立つと考えられる。
		講 師	中村 恵美
		対象者	5・6年生52名
		日 時	①令和2年10月9日（金）9：20～11：15 ②令和2年10月30日（金）9：20～11：15
		内 容	・発声の仕方の練習 ・上手にインタビューする方法を知り、実際に体験する ・聞き手を意識した放送原稿の読み方を学んだ後、各自でニュースの原稿を作成し、アナウンサーに挑戦する。
成 果	・プロのアナウンサーの発声の仕方や話し方を見ることにより、自分の話し方を振り返ることができた。 ・発声の仕方や声の出し方、聞き手を意識した話し方など、学んだスキルをさまざまな学習活動の中で、生かす姿が見られた。		

【対話型鑑賞法】

1	くらしき作陽大学	目 標	本学のカリキュラムポリシーと小学校図画工作科学習指導要領にのっとり、地域資源の活用、学校と美術館の連携、対話をういた豊かな鑑賞教育の方法を実践的に学ぶため。
		講 師	片山 眞理、藤井 和子、磯田 敏子、板東 美都子
		対象者	図画工作科指導法履修生2年生55名
		日 時	①令和2年11月18日（水）15：05～17：00 ②令和2年11月25日（水）15：05～17：15
		内 容	・4、5限2コマ利用して倉敷市立美術館において学外講義。 ・「みるを楽しむ！アートナビ岡山」からナビゲーターを招き、少人数グループで館内の作品を対話しながら鑑賞 ・レポート提出
成 果	倉敷市内で学びながら、初めて美術館へ行く者も多く、実作品と対話する体験、対話型鑑賞体験、また小学校教諭だった講師との質疑応答などを通して多くを学ぶことができた。		
2	やかげ郷土美術館	目 標	展示作品から得た自由な発想や感じ方を対話により引き出し、子どもたち同士が共有し合うことで、感想や意見をお互いに言葉で表現するコミュニケーション能力の向上、及び個々の想像力の育成を目指します。
		講 師	片山 眞理、板東 美都子
		対象者	小学校1～5年生計10名
		日 時	令和2年9月27日（日）10：00～11：30
		内 容	・アートカード（気になる絵はどれ？） ・対話型鑑賞会（特別企画展「佐藤一章の軌跡」の鑑賞） ・ワークショップ「安全ピンとビーズでオリジナルバッジをつくろう！」
成 果	最初は固い表情だった子どもたちも、対話をしながら鑑賞することで、次第に自分の感想や想像したことを積極的に言葉にし合い、お互いに共感したり、他者の意見から新たな気づきが生まれる等、それぞれの想像力やコミュニケーション能力の向上につながった。また、ワークショップでは自分の感じた色で生き生きとした作品をつくることができた。		

学校出前講座講師所感

柴原 靖彦（伝統文化部門／書写）

12月に、岡山市立浮田小学校の1・2年生の書写指導に行きました。書き初めの課題を書くための指導です。

1年は、「ふじ山にのぼりました。」2年は、「新しい年をむかえました。」をフェルトペンで書きます。子どもたちは、長い用紙に大きく書くのは初めてだったので、最初は戸惑っていましたが、練習するにつれて、一つひとつの文字の形や書き方だけでなく、行の中心も意識できるようになりました。

2回の出前講座を通して、子どもたちが日ごろの学習や生活の中でも、文字を正しく整えて書こうとする意識を強くもって書く活動に取り組んでくれたらと思います。



藤久 一穂（伝統文化部門／染織）

草木染めを通して、自然から色をいただけることを知り、布の素材に、興味をもってもらえればと思いました。今回は小学2年生でしたので、自然素材についてどこまで理解してもらえるかわかりませんでしたが、布は糸から、糸は繊維からできていること、繊維にも種類があることも、理解してくれたように思います。

ビー玉や輪ゴムを使ってハンカチを絞っていく作業では、地域ボランティアや先生方にも補助してもらいながら、熱くなった染料で染める時には、やけどに注意することなどしっかりと聞いてくれ、「どんな色がでるかな」、「カレーの匂いがする」などしっかりと五感を使った講座ができたと思います。出来上がった、世界に一枚の玉ねぎの皮で染めた絞りハンカチを見せ合い、みんなの満足そうな顔を見られて、私もとても嬉しかったです。



中尾 一郎（一般文化芸術部門／写真）

子どもたちは毎日の暮らしの中で「感じたり」「思ったり」「誰かに伝えたいことを見つけたり」しています。そういう気持ちを言葉にして書くことで自分の生を深めていくことが出来ます。その一つの表現として詩があります。だから国語の詩の授業はとても大切なものです。その場面に参加することが出来て、とても良い体験をさせてもらったと感じています。「何を」「どのように書くか」ということを一緒に考えることは私自身の勉強になりました。硬くなりつつある私の感性を子どもたちが刺激してくれました。何より詩を作ることを楽しんでくれたことが嬉しかったです。自宅でも職場でも学校でもない「サードプレイス」としての詩が、心が折れそうになった時、子どもたちを支えてくれると思います。これからも書き続けてほしいです。



山下 リール（一般文化芸術部門／デザイン）

今回、図書委員の生徒さんに向けて「本はどうやって作られるか」ということを通して、より本の魅力を知ってもらう講座を行いました。

まずは、本を分解してみよう！帯、カバー、表紙を脱がしていくと様々なデザインが現れます。一冊の本には、著者の世界観をデザインに落とし込んで、1人でも多くの人の手に取ってもらう工夫が細部にまでされていることを学びました。本は読むだけでなく、人間の五感に訴えかけるような驚きに満ちた仕掛けが隠されていることも知ってもらいました。さあ、次は自分が友人にお勧めしたい本を選んで、ブックカバーを制作してみよう！発想は自由に。イラストが得意な子は表紙に絵を描き、苦手な子は新聞や雑誌からタイトル文字を切り抜きコラージュ。連載書籍のケースを作る子もいて、出来上がりは学園祭でお披露目でした。

電子書籍が主流となりつつある今、紙をめくる本の方が好きという子どもたちの感想が開けたことも嬉しかったです。



編集・発行



公益社団法人

岡山県文化連盟

〒700-0814 岡山市北区天神町8-54
岡山県天神山文化プラザ内
TEL.086-234-2626 FAX.086-234-8300
URL <https://www.o-bunren.jp>